

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学生）月例報告書（12月分）

留学先大学：ブカレスト大学

氏名：舟津 香菜子

こんにちは。ブカレスト大学に留学中の舟津です。

12月に入り、一気に街中がクリスマスムードになりました！道路やお店、学生寮など至るところで、イルミネーションがキラキラと光っていて、歩くだけでもワクワクしてきます。今回は、ルーマニアでのクリスマスの過ごし方について少し報告したいと思います。

まずは、クリスマスマーケット！ブカレストでは、いくつかの場所でクリスマスマーケットが開催されていました。その中でも1番大きいマーケットは、国民の館の前の広場で開催されていて、そこにマーケット初日に友だちと行ってきました。とても広くて、人もたくさん集まっています、ステージではアーティストの人が歌っていたりお祭りのようでした。マーケットには、出店がたくさん並んでいて、ホットワインや、お肉などの食べ物から、かわいい雑貨など様々なお店があり、見て回るだけでも楽しかったです。



ルーマニアの友だちに聞くと、みんな、クリスマスは家族と一緒に過ごす日だそう

で、日本とは違うなと感じました。日本では、どちらかというとクリスマスは恋人や友だちと過ごしてお正月は家族で、という人が多いと思いますが、こちらではクリスマスの方が神聖なイベントというイメージがあるのかもしれませんが。クリスマスは家族と一緒に、伝統料理のサルマーレやコゾナックを作って食べ、クリスマスツリーを飾り付けるというのが、ルーマニアのクリスマスの過ごし方だそうです。

12月23日に、ルーマニアの友だちがお家に呼んでくれて、ルーマニア式のクリスマスを少し体験させてくれました！本物の木に、飾り付けをしてクリスマスツリーを作り、その子のおばあちゃんが作ってくれたサルマーレをお母さんと一緒に食べました。料理はとても美味しく、ほっこりした楽しい一日を過ごせました。

【ドイツ、ミュンヘン旅行】

そして、今回はドイツのミュンヘンに旅行に行きました。ずっと行ってみたかったノイシュバンシュタイン城に行けて、目の前にしたときはお城の美しさに感動しまし



た。中もガイド付きで見て回れて歴史を知りながら見る事ができて、とても楽しかったです。お城の中なのに人工洞窟があったことには驚きました。

また、マリエン広場のクリスマスマーケットにも行ってきました。とても可愛い雑貨が並んでいて楽しかったのですが、お昼にも関わらず、ブカレストのものとは比べられないほどの人が集まっています、見て回るの

も大変なくらいでした。さすが本場のドイツのクリスマスマーケットだなと感じました。ミュンヘン旅行で、驚いたことの一つは日本人の多さでした。観光地を巡ったからというものもあるかもしれませんが、ルーマニアではほとんど、というか全く日本人は見ないので、日本語も聞こえてきません。ですが、ドイツでは、電車内でもマーケットでも日本語が聞こえてきて、少し新鮮でした。

【ルーマニア建国記念日100周年】

12月1日はルーマニアの建国記念日でした。今年は、記念すべき100年目の年だということで、その日の前から、街中では、ルーマニアの国旗を掲げた建物や、国旗をつけた車などをよく見かけました。多くの人々がこの日を待っていて、大切にしているのだなと感じました。



1日当日には、凱旋門の前の通りで、パレードが行われました。私も、友達何人かと一緒にそのパレードを観に行ったのですが、会場には、ものすごい人が集まっています、道路沿いにとても長い列になって並んでいました。毎年このパレードは行われるらしいのですが、毎年多くの人たちが見に来て、開始時間よりも前から待機しているという話をルーマニア人の友達から聞いていたので、100周年の今年はもっと多くの人がかかるだろうと予想し、1時間ほど前に行ったのですが、それでもすでにたくさんの方が集まっていました。ルーマニアの人々の建国記念日に対する思いの強さを、当日にも体感しました。

パレードでは、道路に戦車が走って行ったり、空には軍の飛行機のパフォーマンスがあったり、いろんな国の戦車紹介や制服を着ている人たちが見れました。

その日は朝ということもあり、とっても寒くて凍えながら見ていたのですが、記念すべき年に、このようなパレードを見ることができて、貴重な体験ができたので嬉しかったです。